

ビジネスサポートQ&A

経営



<著者>Profile

税理士・中小企業診断士 知野 福一郎

第四銀行本店貸付第1課次長にて退職後、昭和47年7月に事務所を開設。会計事業をはじめ、事業承継、M&A、相続対策などあらゆる面で中小企業の相談に応じている。札幌商工会議所中小企業相談所専門相談員

月次試算表で何を把握できるか

Q 会計事務所から月次試算表が届けられますが、何をチェックすれば良いのかわかりません。

良いのかわかりません。

1...まずは残高の確認を

A 月次試算表は、翌月の十日をめどに自社で作成することが基本です。会計事務所などに依頼している場合も、一定の日時に経営者や幹部がチェックし、そこから得られる経営情報を生かせるような体制を組む必要があります。

最初にチェックすべきことは各科目の残高確認です。①現金等（普通預金等の流動性預金を含む）の残高を確認します。②売掛債権は、売掛帳個別口座残高と合計額の確認、受取手形帳との突合、金融機関に割り引き、取立委任などを行っている場合は、その預り証などで確認します。③在庫（商品、原材料、仕掛品）等を棚卸票で確認します。毎月、棚卸をしていない場合も目視などで推定在庫の確認が必要で、④支払手形、買掛金、未払費用等の確認についても、支払手形帳、買掛帳などによって各科目残高とその裏付

けとなる補助簿残高などによって確認することが必要です。

となく、損益計算書で売上や経費、利益などは重視しがちですが、利益は、売上高とコストの差引き計算の結果を算出しているに過ぎず、利益を直接目にすることはできません。しかし、貸借対照表は、実際の残高を経営者自身の目で直接確認できることが強みです。

2...貸借対照表で資金状況が分かる

貸借対照表の科目残高の確認が、なぜ重要かと言えば、これらの科目の増減が資金繰りに大きく関係しているからです。①現金、普通預金などの残高は、平均月商のほぼ一カ月分が最低の安全ラインです。前月に比較しての増減推移を確認します。②売上債権が前月より増加している場合は、現金等残高の減少原因です。③商品や原材料、仕掛品等棚卸商品の増加も売上債権と同様、現金等の減少要因になります。逆に、売上債権、在庫等資産の残高が減少すれば現金等の増加要因です。④買掛金、未払金等の支払債

務の減少は、現金等の減少要因につながり、また、これらの負債の増加は現金等の増加原因になります。⑤運転資金量の増減が資金繰りに大きく影響しますが、月次試算表から運転資金量が計算できません。運転資金量は、売上債権残高に在庫金額を加えた合計額から買掛金、未払費用等の支払債務を差し引いた差額を言います。この差額が大きくなればなるほど運転資金が多く必要になり、現金等の減少要因になります。この差額が減少すれば現金等の増加につながります。企業の中には、差引いた金額がマイナスになり、運転資金は仕入先等の買掛金によって調達しているという企業もあります。債権回収は早く、支払いは可能な限り延ばすという豪傑企業も存在しているのです。

税理士法人知野会計事務所

札幌市中央区北一条西二丁目

北海道経済センタービル

〇一一二五一一五六三一